

(別記)

令和6年度厚木市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、神奈川県ほぼ中央に位置し、豊かな自然環境の中、都市近郊という利点を活かし、市民に新鮮で安全安心な農畜産物を安定的に供給している。農業地域は、西北部の丘陵地帯と穏やかに開けた東南部の平坦地に区分され、水田地帯は、相模川を始めとした大小6河川の流域にあり、神奈川県下でも有数の水田地帯である。

しかし、都市化の進展に従い、地域内の農家数は減少傾向にあり、全国的な問題である後継者不足や農地の荒廃は、当該地域においても大きな課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

厚木市においては、これまで地域で振興してきた「ネギ」「キャベツ」「サトイモ」等の導入効果を広く地域の農業者へ周知し、稲作から高収益作物への経営転換を促進したいと考えている。また、転換作物については流通コストの削減による農家所得の向上、消費者ニーズに対応した身近な場所で作られた新鮮な農産物の提供といった観点を踏まえ、市内農畜産物直売所を拠点として地産地消を推進し、収益力の向上を図る取組方針を策定した。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

近年、稲作と転換作物の輪作は行っていないが、畑地化に係る永久転換は行わずに基本的には水田を中心とした土地利用を図る方針である。相模川をはじめとする6河川の流域に広がっている良好な水田地帯の今後の土地利用の方向性としては、厚木農業振興地域整備計画に基づき生産基盤の保全、担い手農業者への農地集積・集約化により、現在の土地利用形態を維持しながら有効利用を図ることとする。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要動向に基づき、消費者・実需者ニーズに対応した生産に取り組む。近年主品種である「はるみ」の生産を推進し、水田農業の効率化を図る。

(2) 備蓄米

地域の実情に応じた生産数量を勘案して生産を行う。

(3) 非主食用米

飼料用米について、養豚農家等の需要に応じた生産数量を勘案して行う。

(4) 麦、大豆、飼料作物

耕作放棄地の解消と併せて麦・大豆の導入を推進し、産地化を図る。麦・大豆については、実需者との契約に基づく生産を行い、6次産業化を含めた販路の形成を進める。また、機械の導入や厚木市農業協同組合のレンタル制度等の活用によるコストダウン・省力化・機械化体系の構築等により、生産性の向上を図るとともに将来的に新規就農者や集落営農による取組を支援する。

(5) そば、なたね

地域の実情に応じた生産数量を勘案して生産を行う。

(6) 地力増進作物

地域の実情に応じた生産数量を勘案して生産を行う。

(7) 高収益作物

都市農業の有利性を活かし、市場だけでなく市内農畜産物直売所へ出荷することにより地域の産地を活性化し、生産者の経済性の向上を図るため高収益作物等の重点的な導入を推進する。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	398		394		386	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦	0.97		1		1.2	
大豆	2.6		2.55	0.05	2.8	0.2
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	5.33	2.79	5.2	2.75	5.6	2.9
・野菜	5.28	2.79	5.15	2.75	5.5	2.9
・花き・花木	0.05		0.05		0.1	
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	ネギ、キャベツ、サトイモ （基幹作及び二毛作）	地域振興作物助成	作付面積 (ha)	（令和5年度）3.85ha	（令和6年度）3.9ha （令和7年度）4.0ha （令和8年度）4.1ha
2	エダマメ、ホウレンソウ、 コマツナ、タマネギ、ニン ジン、ショウガ、キク（基 幹作及び二毛作）	準地域振興作物助成	作付面積 (ha)	（令和5年度）1.3 ha	（令和6年度）1.3ha （令和7年度）1.4ha （令和8年度）1.5ha
3	小麦（基幹作のみ）	地域振興小麦の生産助 成	作付面積 (ha)	（令和5年度）0.97ha	（令和6年度）1.0ha （令和7年度）1.1ha （令和8年度）1.2ha
4	大豆 津久井在来（基幹作及 び二毛作）	地域振興大豆（津久井 在来）の生産振興	作付面積 (ha)	（令和5年度）2.6ha	（令和6年度）2.55ha （令和7年度）2.7ha （令和8年度）2.8ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 神奈川県

協議会名: 厚木市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物助成(基幹作)	1	15,000	ネギ、キャベツ、サトイモ(基幹作物及び二毛作)	1品目1a以上栽培されている品目とする
1	地域振興作物助成(二毛作)	2	15,000	ネギ、キャベツ、サトイモ(基幹作物及び二毛作)	1品目1a以上栽培されている品目とする
2	準地域振興作物助成(基幹作)	1	10,000	エダマメ、ホウレンソウ、コマツナ、タマネギ、ニンジン、ショウガ、キク(基幹作物及び二毛作)	1品目1a以上栽培されている品目とする
2	準地域振興作物助成(二毛作)	2	10,000	エダマメ、ホウレンソウ、コマツナ、タマネギ、ニンジン、ショウガ、キク(基幹作物及び二毛作)	1品目1a以上栽培されている品目とする
3	地域振興小麦の生産助成	1	10,000	小麦(基幹作のみ)	実需者との播種前契約等を締結すること
4	地域振興大豆(津久井在来)の生産振興(基幹作)	1	10,000	大豆'津久井在来'(基幹作物及び二毛作)	実需者との播種前契約等を締結すること
4	地域振興大豆(津久井在来)の生産振興(二毛作)	2	10,000	大豆'津久井在来'(基幹作物及び二毛作)	実需者との播種前契約等を締結すること

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。